

14 令和3年度大分県高等学校新人剣道競技大会実施要項

- 1, 期 日 令和3年11月13日(土) 9:30 ~開会式 女子団体 男子個人
14日(日) 9:30 ~男子団体 女子個人 閉会式
- 2, 会 場 別府市総合体育館(べっぷアリーナ) サブアリーナ
- 3, 競技規則 全日本剣道連盟剣道試合・審判規則、同細則及びコロナ禍による、暫定的な試合・審判法とする。
- 4, 競技種目 男女とも団体戦及び個人戦とする。
- 5, 試合方法 試合は、団体・個人共にトーナメントで行う。
 - (1) 試合時間は、団体戦、男女とも4分とし、勝敗が決しない場合は引き分けとする。勝者数・取得本数同点の場合、任意の選手による代表戦を行う。個人戦、男女とも4分、勝敗の決まらない場合は、延長戦を4分刻みで行い決着がつくまで試合を行う。(延長; 4分・4分・小休止・4分・4分・休憩 繰り返し)
 - (2) その他の事項については、「全国高体連剣道部申し合わせ事項」「本大会申し合わせ事項」によって行う。
- 6, 参加資格 「令和3年度大分県高等学校新人大会実施要項」の参加資格に準ずる。
- 7, 参加制限
 - (1) 団体試合において、各校男女別1チームとする。チームの編成は1・2年生で、監督1名・男子7名・女子5名、補欠2名とする。
 - (2) 個人試合は、男女とも各学校4名以内の出場を認める。
- 8, 参加申込
 - (1) 期 限 令和3年10月19日(火) 正午必着
 - (2) 方 法 申込用紙は大分県高体連のホームページから入手し、下記により期限内に申込む。参加同意書は郵送せず、各学校で保管すること。
 - ア、No.14様式により作成し、1部印刷・捺印して、①へ郵送する。
 - イ、承認を得た申込書の電子データは、下記②に送信する。
 - (3) 宛 先 ① 〒876-0848 大分県佐伯市城下東町7番1号
佐伯鶴城高等学校内 泉 英明 宛
② メールアドレス izumi-hideaki@oen.ed.jp (県立学校は庁内連絡を使用)
申込みデータ期限 10月19日(火)正午必着 (ファイル名: 学校名)
- 9, 参加負担金 選手1人(補欠を含むエントリー)、加盟校600円・非加盟校1000円。
大会当日の受付で納入する。
- 10, 出 場 権 男女とも団体ベスト4・個人ベスト8に、九州高等学校選抜剣道大会の出場資格を与える。
- 11, 諸 会 議 第3回専門委員会 令和3年10月20日(水)9時~ 高体連事務局

大分県高等学校新人剣道競技大会申し合わせ事項 改訂版

1 会場への入場について

《選手・監督・役員》※2F出入口（トレーニングルーム側）前に集合（専門委員の指示）

※重要 3F出入口使用禁止（2F正面出入口→ワクチン接種者および体育館使用者）

7：55 2F出入口（トレーニングルーム側）に選手・監督・役員がフィジカルディスタンスをとり、マスクを着用して集合する。（専門委員の指示）

※縦横1m間隔で各学校1列10人以内で整列する（マスクの着用の徹底）
健康チェックシートの確認（更衣は済ませておく）※体調不良者の入場不可
顧問による生徒の手指消毒 ※消毒液は各高校で準備

8：00 2F出入口（トレーニングルーム側）から入場（山側の階段を上がってサブアリーナ観客席へ移動し、専門委員の指示に従って荷物を置く→サブアリーナに入場後は、屋食以外は観客席には立ち入らない）

※応援生徒は、指定された場所で待機（別途指示 マスク着用 無言）

※場内では移動時に防具袋やクーラーボックスのキャスターは使用禁止。特にクーラーボックスはサブアリーナ内に持ち込まないこと。2Fサブアリーナ周辺（ロビー）に下足入れやクーラーボックスを配置する場合は、各学校ごとにソーシャルディスタンスをとり、通行の妨げにならぬようすること。引率教員はそれらについて自チームの指導を徹底すること。

受付（B5掲示用個票を提出、オーダー票を受け取る）

8：20 入場完了後諸注意 練習開始 ※竹刀検量実施（各日の出場選手のみ）

8：45 観戦者は2F出入口（トレーニングルーム側）に集合し入場（選手と同じ場所）

※入場制限あり→下記4に詳細あり 9：20入場完了・施錠

各学校ごとに揃って入場し、検温および健康チェックシートの提出を行う。
2F出入口（トレーニングルーム側）以外の出入口からの会場への入場はできません。

9：00 審判監督会議（当日指示）※終了後、専門委員の指示でオーダー票提出

9：20 練習終了（補助員集合 1試合場）

9：25 選手整列（専門部の指示に従う）

9：30 開会式 試合開始

2 選手・役員の動線について（入場時の動線は別紙に記載）

会場内は、左側1列通行を徹底し、移動時はマスク着用・無言を徹底する。

メインアリーナとサブアリーナ間の観客席のブリッジは通行禁止。サブアリーナ山側（会場本部側）の通路は通行できますが通路にとどまるとの観戦はできません。必ず、観客席から観戦してください。9：20には、2F出入口（トレーニングルーム側）を締め切ります。観客の再入場はしないようにお願いします。試合終了後は、本部の指示に従い、密にならないように2F出入口（トレーニングルーム側）から会場を出るようにしてください。観戦者が会場を出てから、選手を会場から出すようにします。大会実施中は、会場への出入りは最小限となるようにご協力ください。

3 消毒液の配置・個数について

アルコール消毒液を出入口・トイレ・自販機前に配置 ※定期的に点検

4 観戦者の入場制限を以下に定める。

別府市総合体育館サブアリーナの座席数は約740です。約100席を選手の荷物置場・昼食会場として使用しますので、残り640席の半数320席（1席間隔を取り使用するため）を観客席として使用します。各学校ごとの入場できる人数は次に示す通りです。

「本大会における各学校の13日・14日の出場登録選手の人数×2を、各学校の観戦者の許可人数とする。観戦者は、選手登録している選手の家族とする。また、観戦者は県内在住の方で、2回目のワクチン接種が終了している方が望ましい。県外在住の保護者が観戦する場合は、2回目のワクチン接種が終わっていることに加え、大会直前にPCR検査や抗原検査を実施し陰性であることが望ましい。ただし、居住する地域に限らず、健康上の理由からワクチン接種が実施できない保護者や、居住地域のワクチン接種が進んでおらず接種ができていない保護者については、上記下線部と同様の対応を求める。各学校は観戦者を把握し、10月26日（火）までに庁内連絡かメールで大会申込先まで観戦者の数を連絡すること。また、同時にパンフレットの観戦者の購入部数も連絡すること。（パンフレットは予約販売とし、部顧問は受付時に観戦者用のパンフレットの購入代金も参加費とともに支払い、予約部数を受け取り観戦者へ渡すこと。）観戦者は、IDを作成し衣服につけて呈示すること。また、入場時には『健康チェックシート』を作成し提出する。」

※観戦者の希望人数とパンフレットの予約部数の調査用紙は、10月22日（金）に、高体連剣道専門部のホームページに組み合わせのデータと併せて添付します。

例）豊後黒潮高等学校

女子団体（6名）男子個人（4名）男子団体（9名）女子個人（4名）の登録
13日 女子団体戦・男子個人戦 20名の観戦可
14日 男子団体戦・女子個人戦 26名の観戦可

※会場で観戦できない方のために、ライブ配信を行ってもかまいません。しかし、観戦者は試合会場（サブアリーナ）には入れませんので、観戦者が観客席で行うか、引率教員や生徒が試合会場で行うかのどちらかをお願いします。

加えて、自分の前後左右の座席の高校がどこかわかるように、IDをご覧になって確認しておくようお願いいたします。

学校関係者の入場は、2F出入口（トレーニングルーム側）に設置した外来者用受付にて、検温と健康チェックを行い、本県および所在する県の方針に沿って許可する。

※県教委や各学校の管理職や職員も同様の対応です。（事務局でID作成）

【IDの様式】

※各学校ごとに作成して、会場内では必ず見えるところに着ける。

※IDの番号と健康チェックシートの番号は必ず一致させるようにしてください。

豊後黒潮

高等学校

1

No,

- 5 会場の換気について
スポーツ庁や会場の方針に沿って、一部の窓を常時開放することで対応する。（施設職員と事務局で適宜対応する。）
- 6 本大会の特別ルール（感染症対策）について
開閉会式 簡易化して実施（マスクの着用）
選手宣誓は、マスクを着用し十分な間隔を取って行う
表彰は入賞チームのみ専門部の指示で整列して行う。その他のチームで会場に残っている場合には、別途指示をする。
礼 法 選手は、試合場への入退場時もマスクを着用、団体の礼も控えでもマスクを必ず着用する。監督は、フェイスシールドとマスクを常時着用
試 合 「新型コロナウイルス感染防止のための暫定的な審判法」を適用する。
- 7 その他
 - 部員の用具（剣道の用具・おしぼりや飲料も含む全て）の貸し借りや共有は厳禁。
 - 大会期間中は、更衣室は一切使用しない。試合終了後、選手は原則、更衣はせずに退場すること。ただし、公共交通機関を利用している学校については事前に申し出があれば許可する。また、特別な事情がある場合には事前に部顧問が申し出れば協議して許可する。
 - 役員控室（役員昼食場所）は、審判会議を行う観客席のガラス張りのスペースです。
 - メインアリーナ（観客席含む）は進入禁止、3F出入口も使用厳禁です。
 - 審判旗は、必ず同じものを終日使用します。
 - 生徒の昼食は、観客席・サブアリーナ側ロビーでのみ許可します。同じ方向を向き、話をせずに短時間で済ませるようお願いいたします。（ゴミはすべて必ず持ち帰ること）
 - 会場の設営・撤収は事前に指定された学校で行います。ご協力をお願いいたします。その他の学校で敗戦した学校は閉会式を待たず帰校してもかまいません。
 - 3年生の観戦は、受験での感染拡大区域との往来や、受験に向けた健康管理への配慮から認めません。
 - 竹刀検量は実施する。顧問が事前の点検を徹底する。（1人3本以内）
 - ◎観戦者の希望数が、観客席の座席数を超える場合や直近の感染状況によっては、観戦者の数を半分（登録選手1名につき1名）にする可能性もあります。